

## 利根川水系及び荒川水系のダム等の現状についてお知らせします

～梅雨入り後も少雨が続き、ダムの貯水量は少ない状況のままです～

利根川水系および荒川水系では、6月初旬の台風第6号の接近や、6月7日の関東甲信地方における梅雨入りの発表を受けてからも、上流域には、ダムの貯水量を大幅に回復させるような降雨が無い状況が続いています。現時点でダムの貯水量は平均値を大きく下回り、また、利根川・鬼怒川の13ダム中8ダム、荒川の4ダム中3ダムで既に洪水期間中（7月～9月）の満水時における貯水量よりも少ない状況となっています。

今後、盛夏に向かって水需要がまだまだ増加することが見込まれる一方で、当面はまとまった降雨が予想できる状況にないことから、ダム等を管理する関東地方整備局および水資源機構では、引き続き慎重に水運用を行って参ります。

なお、ダムに貯留された水資源には限りがあります。皆さま方の日頃からの節水に感謝申し上げますとともに、引き続き節水へのご協力をお願いします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 東京都庁記者クラブ  
千葉県政記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 刀水クラブ・テレビ記者会 水資源記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 河川部

電話：048-601-3151（代表） FAX：048-600-1379

河川環境課 課長 土谷（つちや）（内線：3651）

建設専門官 田島（たじま）（内線：3652）

水資源機構

電話：048-600-6541（直通）

危機管理室 室長補佐 谷藤（やとう）

## 利根川・荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



奥利根湖と利根川源流の山々（令和8年6月17日撮影）

令和8年6月19日

関東地方整備局

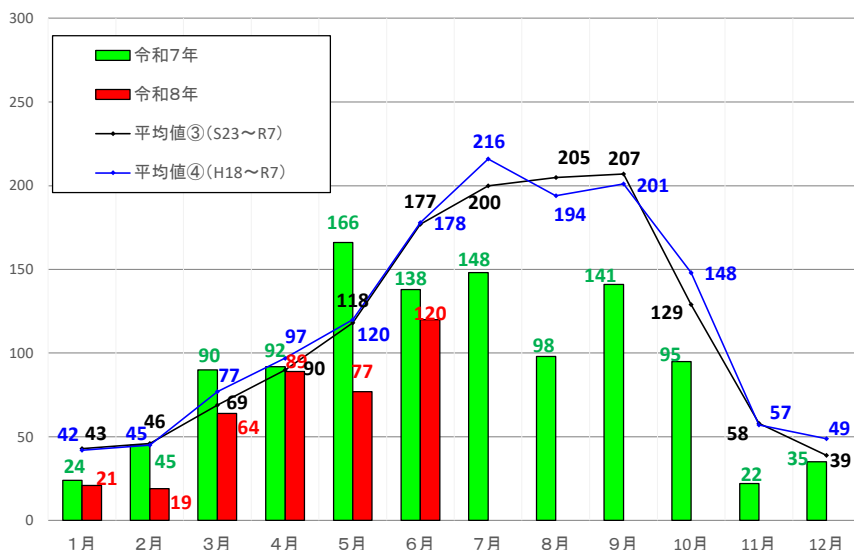
# 1. 利根川上流9ダム等の現状

## (1) 利根川

### 1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況（令和8年6月18日0時までの降水量）

栗橋地点（埼玉県久喜市栗橋地先）上流域における降水量は、1月、2月は平均値（昭和23年～令和7年の78年間の平均）の半分以下となりましたが、3月、4月は平均値と同程度の降水量となりました。5月の降水量は、平均値118mmの約7割に相当する77mmの降水量となり、6月は18日0時時点で平均値177mmの約7割に相当する120mmの降水量となっています。

（図－1、表－1 参照）



図－1 利根川栗橋地点上流域平均降水量（令和8年6月18日0時まで）

表－1 利根川栗橋上流域平均降水量（令和8年6月18日0時まで） 単位：mm

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
平成27年	57	36	63	86	45	221	248	207	300	29	127	33	1,452	-
平成28年	69	36	57	104	56	156	134	328	312	55	68	56	1,431	-
平成29年	61	37	56	73	95	97	240	274	113	368	18	22	1,454	-
平成30年	39	17	108	69	128	114	178	187	254	56	23	35	1,208	-
令和元年	26	17	75	96	108	248	249	195	95	489	56	36	1,690	-
令和2年	76	25	99	134	104	211	278	81	163	146	10	29	1,356	-
令和3年	34	45	102	78	95	181	256	271	151	77	59	70	1,419	-
令和4年	28	47	58	127	142	134	282	118	217	65	70	36	1,324	-
令和5年	22	26	86	64	138	270	90	193	154	102	48	23	1,216	-
令和6年	49	65	135	87	130	145	148	306	154	124	76	25	1,444	-
平均値① (S23~R6)	44	46	69	90	117	177	200	207	208	130	59	39	1,386	-
平均値② (H17~R6)	45	45	75	94	114	175	225	203	201	148	58	50	1,433	-
令和7年	24	45	90	92	166	138	148	98	141	95	22	35	1,094	-
平均値①に対する割合	55%	98%	130%	102%	142%	78%	74%	47%	68%	73%	37%	90%	79%	-
平均値③ (S23~R7)	43	46	69	90	118	177	200	205	207	129	58	39	1,381	-
平均値④ (H18~R7)	42	45	77	97	120	178	216	194	201	148	57	49	1,424	-
令和8年	21	19	64	89	77	120							390	-
平均値③に対する割合	49%	41%	93%	99%	65%	68%							28%	-

注) 平均値①、③は各年に対してデータが存在する期間（77ヶ年又は78ヶ年）を平均したもの  
平均値②、④は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

2) 矢木沢ダム地点、奈良俣ダム地点、藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の雪の状況

(令和7年～令和8年 冬期)

《積雪深・降雪量》

今冬の各地点の積雪深は、2月下旬以降には平均を下回りました。また、平均と比べて約1ヶ月早い消雪となりました。

(図-2～6 参照)



図-2 観測地点の位置

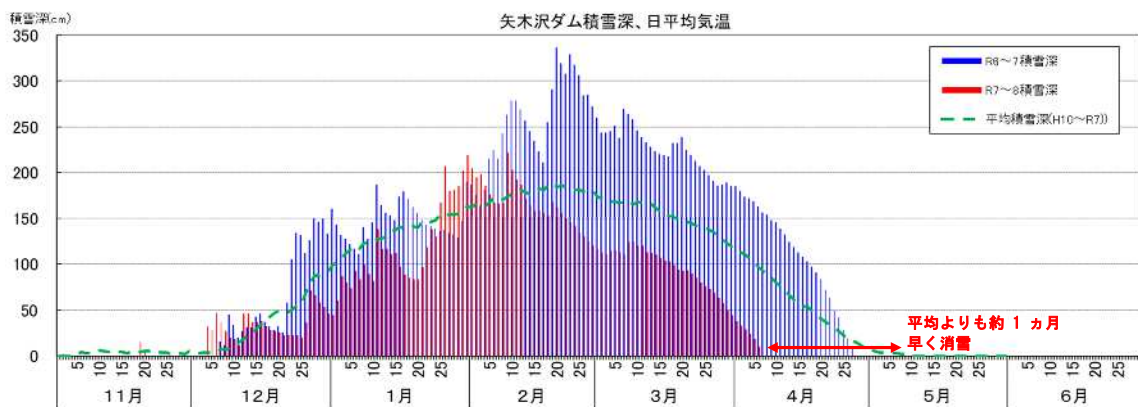


図-3 矢木沢ダム地点の積雪深 (令和8年5月10日9時まで)

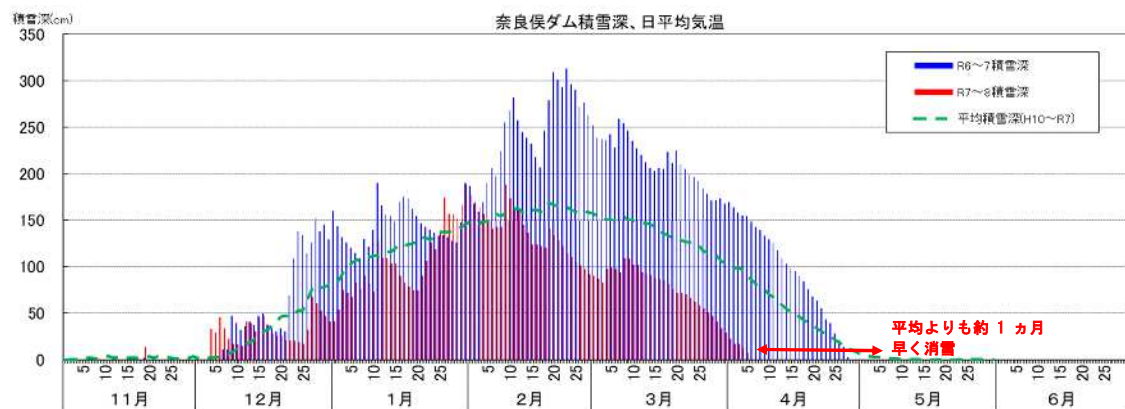


図-4 奈良俣ダム地点の積雪深 (令和8年5月10日9時まで)

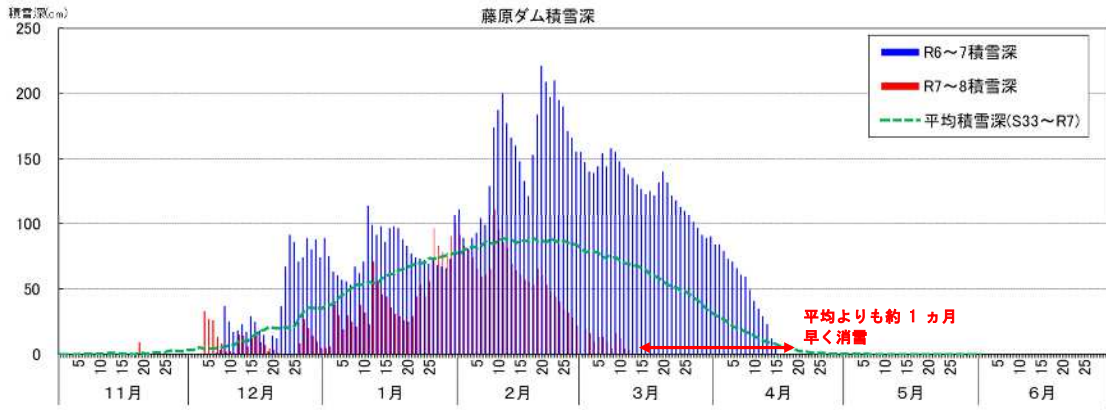


図-5 藤原ダム地点の積雪深（令和8年5月10日9時まで）

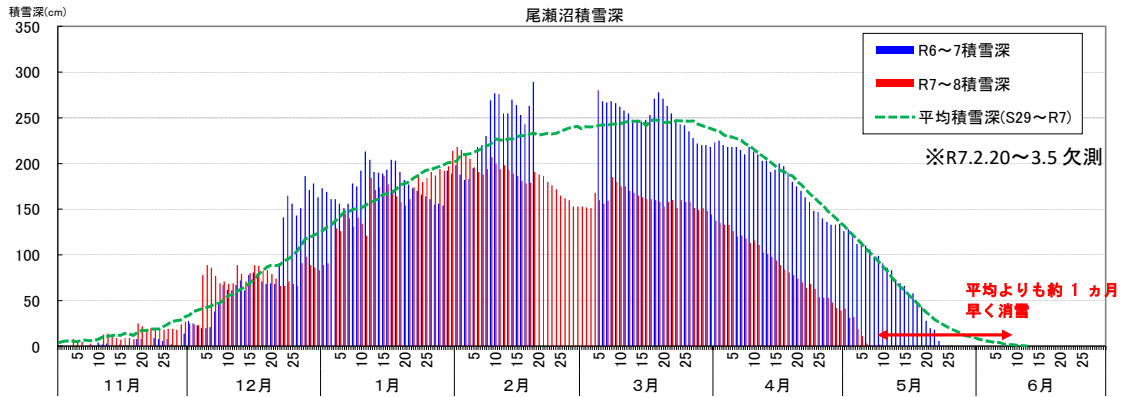


図-6 尾瀬沼地点の積雪深（令和8年5月10日9時まで）

3) 利根川上流9ダムの貯水状況等（令和8年6月18日0時現在）

利根川上流9ダムの合計貯水量は、平均よりも約1ヵ月早い消雪の後に、農業用水や都市用水等に必要となる水量を確保するために行った放流によって、平均値を大きく下回りました。

利根川上流9ダムのうち4ダム（矢木沢ダム、奈良俣ダム、相俣ダム、下久保ダム）では、既に洪水期間中（7月～9月）の満水時における貯水量よりも少ない状況であり、6月18日0時現在において、利根川上流9ダムの合計貯水量は27,888万m<sup>3</sup>（貯水率51%）となっています。

（図-7、表-2 参照）

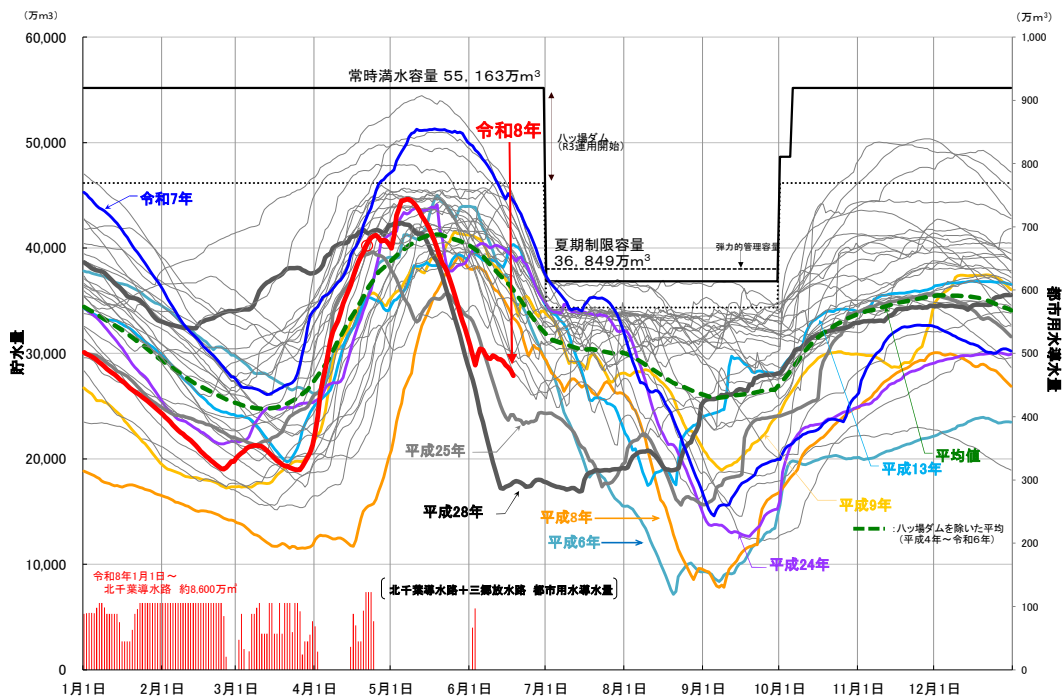


図-7 利根川上流9ダム合計貯水量図（令和8年6月18日0時現在）

表-2 利根川上流9ダム ダム別貯水量（令和8年6月18日0時現在）

ダム名	有効容量 (万m <sup>3</sup> )	貯水量 (万m <sup>3</sup> )	貯水率 (%)
矢木沢ダム	11,550	5,872	51
奈良俣ダム	8,500	5,417	64
藤原ダム	3,101	1,681	54
相俣ダム	2,000	851	43
藪原ダム	1,322	579	44
ハッ場ダム	9,000	4,153	46
下久保ダム	12,000	3,898	32
草木ダム	5,050	3,796	75
渡良瀬貯水池	2,640	1,641	62
9ダム合計	55,163	27,888	51
8ダム合計の平均値 (平成4年～令和7年)		36,022	(平均値に対して77%)

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合  
 ※過去の貯水量平均値は、ハッ場ダム貯水量を含めず8ダムの合計貯水量で計算したもの

4) 北千葉導水路の運用状況

北千葉導水路は、上流ダム群の貯水量の回復と温存を図ることを優先した運用を行っています。ダム群の貯水量が回復した4月下旬からは、利根川下流部から江戸川への導水を停止していましたが、その後、用水補給に伴いダム群の貯水量が減少したことから、6月上旬より導水を再開しています。台風第6号の影響等により流況が改善した際には、導水を停止しています。引き続き、降雨及び流況等を常時監視しながら、必要なタイミングで必要な水量を下流施設から導水するきめ細やかな運用を実施して参ります。

(図-7 参照)

5) 下久保ダムの貯水状況等

下久保ダムの下流域では、5月26日9時から10%の取水制限が行われています。台風第6号等の降雨により貯水量は増加しましたが、依然として低い水準で推移しており、6月18日0時現在で貯水量は3,898万m<sup>3</sup>（貯水率32%）となっています。

(図-8 参照)

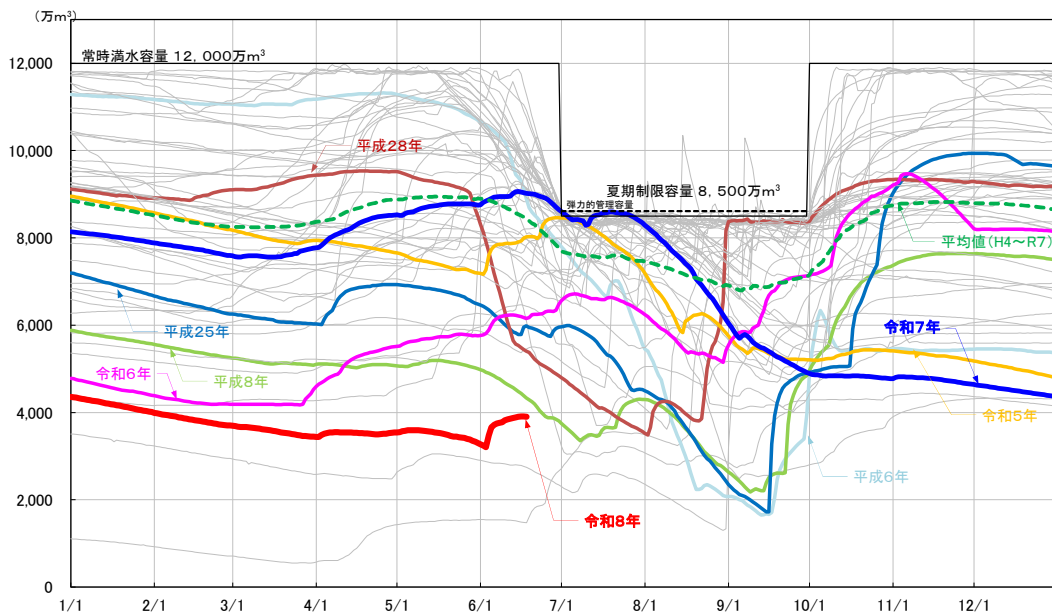


図-8 下久保ダム貯水量図（令和8年6月18日0時現在）

## (2) 鬼怒川

### 1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況（令和8年6月18日0時までの降水量）

佐貫地点（栃木県塩谷町佐貫地先）上流域における降水量は、1月から5月までは4月を除き、平均値（昭和47年～令和7年の54年間の平均）を下回りました。6月の降水量は、18日0時時点で、平均値179mmの約7割に相当する132mmとなっています。

（図-9、表-3 参照）

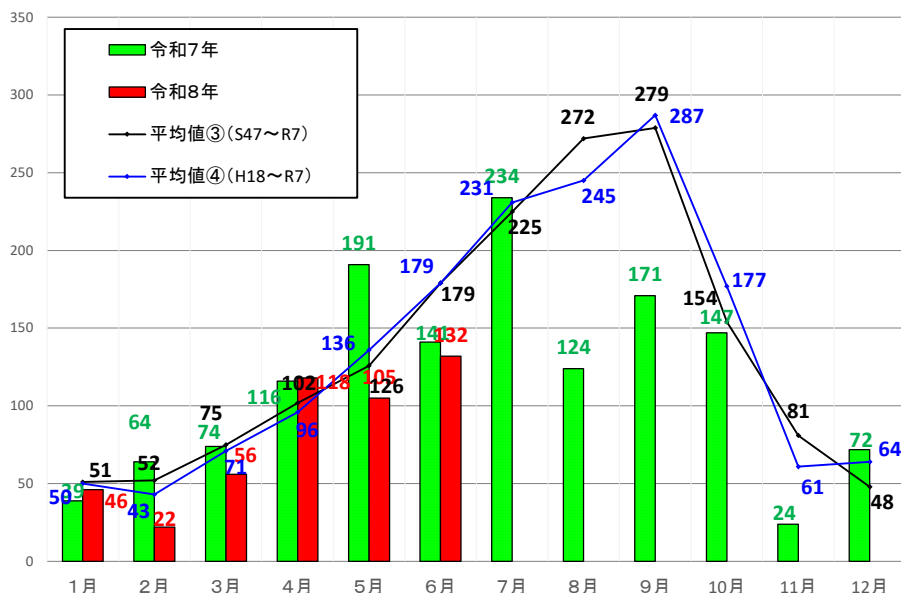


図-9 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和8年6月18日0時まで）

表-3 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和8年6月18日0時まで）単位：mm

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成27年	55	67	82	68	61	204	276	201	624	28	112	47	1,825	
平成28年	66	35	31	109	63	138	94	401	306	49	53	47	1,392	
平成29年	91	45	38	74	93	95	242	337	200	392	18	62	1,687	
平成30年	73	19	174	74	132	94	240	330	328	107	31	51	1,653	
令和元年	23	12	71	71	149	245	251	266	132	590	64	25	1,899	
令和2年	106	19	78	172	108	135	231	102	369	120	12	44	1,496	
令和3年	34	56	125	101	99	186	255	364	169	91	111	116	1,707	—
令和4年	56	53	61	115	207	145	296	162	239	77	62	48	1,521	
令和5年	30	26	63	68	150	248	87	321	211	116	87	13	1,420	—
令和6年	74	43	133	76	162	109	169	359	185	128	82	41	1,561	—
平均値① (S47~R6)	51	51	75	102	125	179	225	275	281	154	82	47	1,647	
平均値② (H17~R6)	51	42	71	95	133	181	231	251	293	178	63	63	1,652	—
令和7年	39	64	74	116	191	141	234	124	171	147	24	72	1,397	—
平均値①に対する割合	76%	125%	99%	114%	153%	79%	104%	45%	61%	95%	29%	153%	85%	—
平均値③ (S47~R7)	51	52	75	102	126	179	225	272	279	154	81	48	1,644	
平均値④ (H18~R7)	50	43	71	96	136	179	231	245	287	177	61	64	1,640	—
令和8年	46	22	56	118	105	132							479	—
平均値③に対する割合	90%	42%	75%	116%	83%	74%							29%	—

注) 平均値①、③は各年に対してデータが存在する期間（53ヶ年又は54ヶ年）を平均したもの  
平均値②、④は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

2) 鬼怒川上流 4 ダムの貯水状況等 (令和 8 年 6 月 18 日 0 時現在)

鬼怒川上流 4 ダムの合計貯水量は、平均値以下の少雨傾向が続いたことにより、過去に取水制限が実施された平成 25 年 (10%取水制限) や平成 28 年 (20%取水制限) と同水準の貯水量まで減少しています。各ダムでは、既に洪水期間中 (7 月~9 月) の満水時における貯水量よりも少ない状況であり、6 月 18 日 0 時現在において、鬼怒川上流 4 ダムの合計貯水量は 11,266 万 m<sup>3</sup> (貯水率 55%) となっています。

(図-10、表-4 参照)

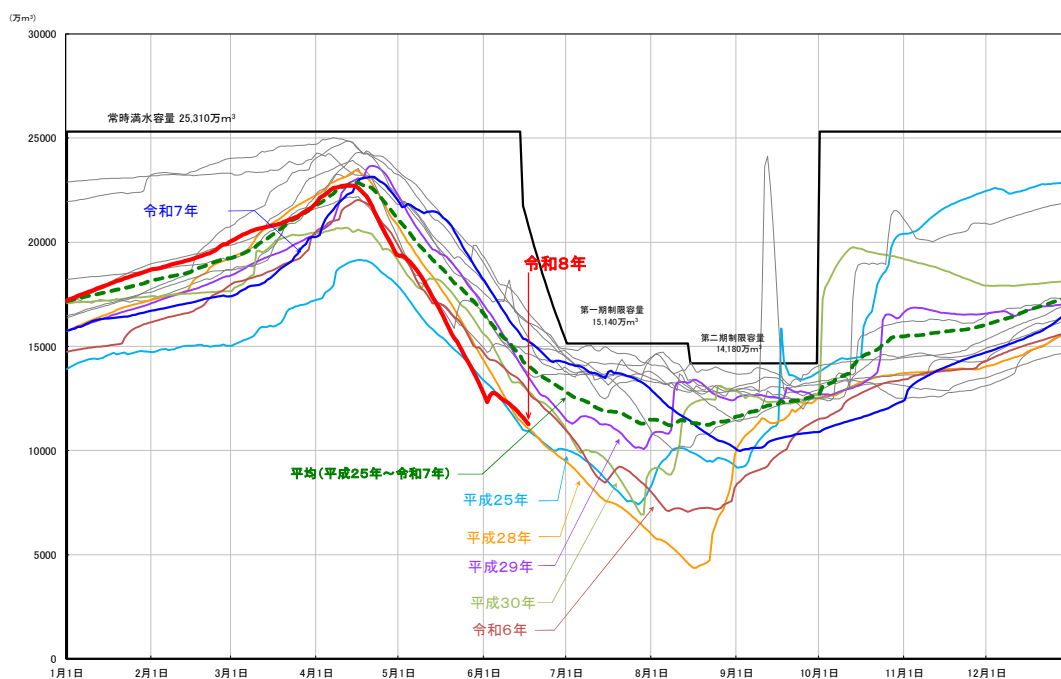


図-10 鬼怒川上流 4 ダム合計貯水量図 (令和 8 年 6 月 18 日 0 時現在)

表-4 鬼怒川上流 4 ダム ダム別貯水量 (令和 8 年 6 月 18 日 0 時現在)

ダム名	有効容量 (万m <sup>3</sup> )	貯水量 (万m <sup>3</sup> )	貯水率 (%)
五十里ダム	1,650	989	60
川俣ダム	5,290	3,090	58
川治ダム	6,798	3,196	47
湯西川ダム	6,562	3,991	61
4ダム合計	20,300	11,266	55
4ダム合計の平均値 (平成25年~令和7年)		13,961	(平均値に対して81%)

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

### (3) 荒川水系

#### 1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和8年6月18日0時までの降水量）

秋ヶ瀬（埼玉県志木市宗岡地先）地点上流域における降水量は、1月から5月までは3月と4月を除き、平均値（昭和40年～令和7年の61年間の平均）を下回りました。6月の降水量は、18日0時時点で、平均値165mmと同程度である170mmとなっています。

（図-11、表-5 参照）

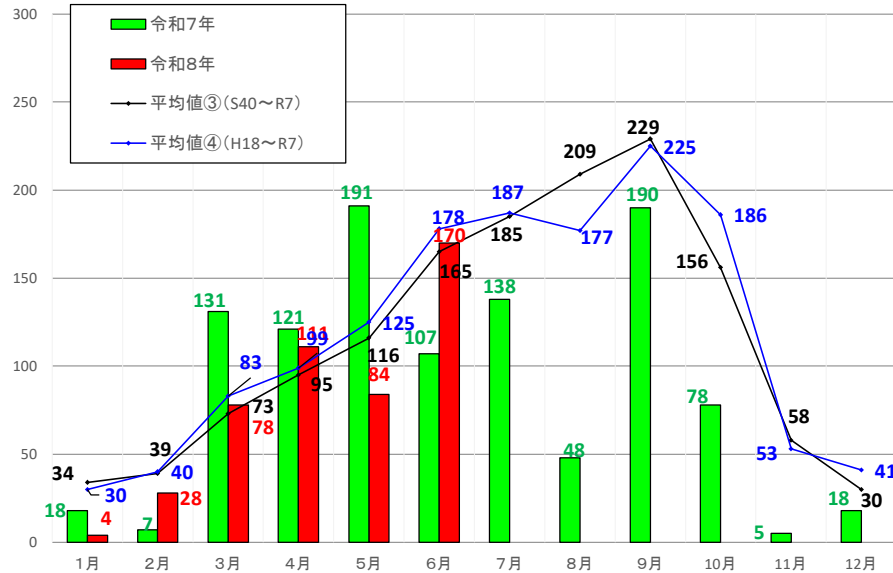


図-11 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和8年6月18日0時まで）

表-5 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和8年6月18日0時まで）単位：mm

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成26年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682	
平成27年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424	
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438	
平成30年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1,312	
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881	
令和2年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559	
令和3年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366	
令和4年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	109	64	25	1,361	
令和5年	6	25	86	39	142	296	47	173	173	67	47	9	1,110	-
令和6年	26	58	124	72	160	184	103	409	115	146	65	2	1,464	-
平均値① (S40~R6)	34	40	72	95	115	166	186	212	229	157	59	31	1,396	-
平均値② (H17~R6)	31	42	81	98	122	181	189	184	227	191	56	42	1,444	-
令和7年	18	7	131	121	191	107	138	48	190	78	5	18	1,052	-
平均値①に対する割合	53%	18%	182%	127%	166%	64%	74%	23%	83%	50%	8%	58%	75%	-
平均値③ (S40~R7)	34	39	73	95	116	165	185	209	229	156	58	30	1,389	-
平均値④ (H18~R7)	30	40	83	99	125	178	187	177	225	186	53	41	1,424	-
令和8年	4	28	78	111	84	170							475	-
平均値③に対する割合	12%	72%	107%	117%	72%	103%							34%	-

注) 平均値①、③は各年に対してデータが存在する期間（60ヶ年又は61ヶ年）を平均したものの平均値②、④は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したものの

2) 荒川4ダムの貯水状況等（令和8年6月18日0時現在）

荒川4ダムの合計貯水量は、3月下旬から増加傾向にあります。依然として平均値以下で推移しています。令和8年6月18日0時時点で荒川上流4ダムの合計貯水量は7,551万m<sup>3</sup>（貯水率52%）となっています。

（図-12、表-6 参照）

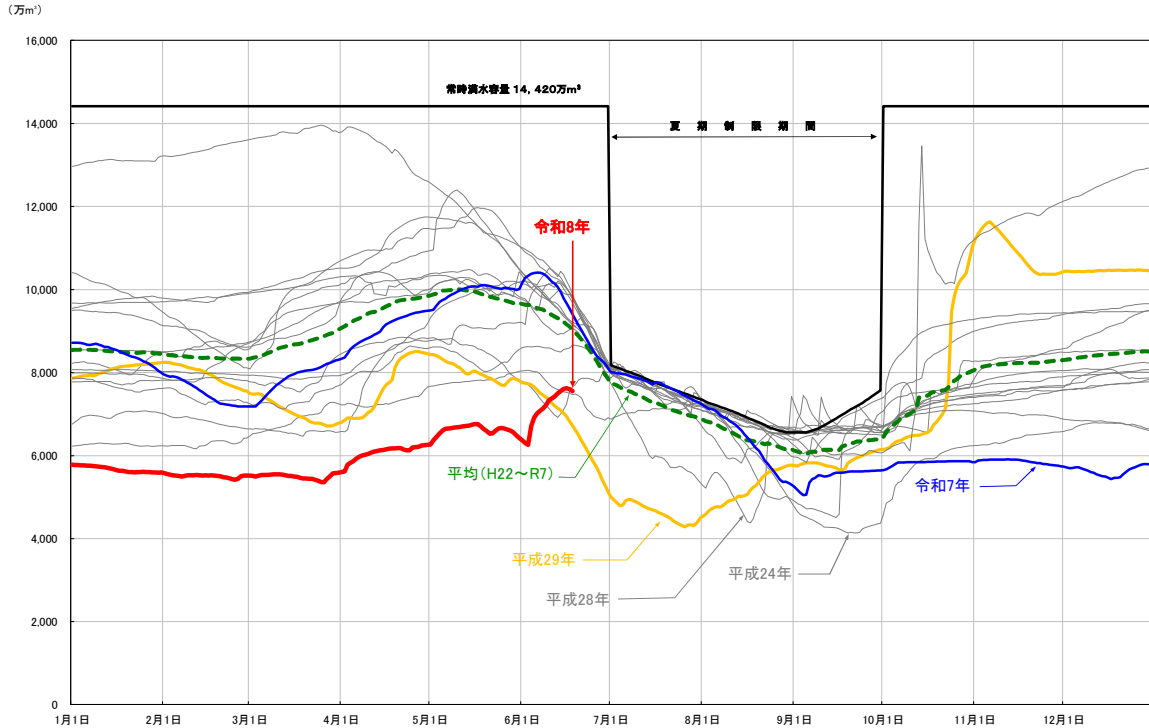


図-12 荒川4ダム合計貯水量図（令和8年6月18日0時現在）

表-6 荒川4ダム ダム別貯水量（令和8年6月18日0時現在）

ダム名	有効容量 (万m <sup>3</sup> )	貯水量 (万m <sup>3</sup> )	貯水率 (%)
二瀬ダム	2,000	1,069	53
滝沢ダム	5,800	2,451	42
浦山ダム	5,600	3,013	54
荒川貯水池	1,020	1,018	100
4ダム合計	14,420	7,551	52
4ダム合計の平均値 (平成22年~令和7年)		9,038	(平均値に対して84%)

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

## 2. 今後の見通し

### 気象予報

令和8年6月18日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(令和8年6月20日から令和8年7月19日までの見通し)によると、向こう1か月の気温は「高い」の確率が20%、降水量は「多い」と「平年並」の確率が合わせて80%となっています。

また、令和8年5月19日気象庁発表の3か月予報(令和8年6月から令和8年8月までの見通し)によると、向こう3か月の気温は「高い」の確率が70%、降水量は「平年並」と「多い」の確率が合わせて70%となっています。

### 1か月予報 (令和8年6月18日発表)

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 06/20~07/19	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
		1週目 06/20~06/26	80 (低い) 10 (平年並) 10 (高い)
		2週目 06/27~07/03	30 (低い) 50 (平年並) 20 (高い)
		3~4週目 07/04~07/17	20 (低い) 40 (平年並) 40 (高い)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 06/20~07/19	20 (低い) 40 (平年並) 40 (高い)
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 06/20~07/19	40 (低い) 30 (平年並) 30 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

### 3か月予報 (令和8年5月19日発表)

気温、降水量の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	06月~08月	10 (低い) 20 (平年並) 70 (高い)
		06月	10 (低い) 30 (平年並) 60 (高い)
		07月	10 (低い) 30 (平年並) 60 (高い)
		08月	10 (低い) 30 (平年並) 60 (高い)
降水量	関東甲信地方	06月~08月	30 (低い) 30 (平年並) 40 (高い)
		06月	30 (低い) 30 (平年並) 40 (高い)
		07月	30 (低い) 40 (平年並) 30 (高い)
		08月	30 (低い) 40 (平年並) 30 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)